

子供の変化に気付いたら

子供はあなたの「戸かけ」を持つているかもしれません

気にかかる様子が見られたときの声のかけ方

「どうしたの？ 何か辛そうだし、とても心配してるよ。」

「なんか元気がないようだけど大丈夫？」 「力になれることがある？」



子供にとっても、自分の思いを言葉にしてみると、自分の思っていることが整理されて、心の苦しさが軽くなります。

思いを受け止める時の言葉の例

「よく話してくれたね、大変だったね。」

「辛かったね、よく耐えてきまししたね。」

「今までよく頑張ってきたね。」 OK,

「よく話を聞く」ことがポイントです！

最後まで丁寧に、聞いてみましょう。

場合により好ましくない、言ってはいけない言葉の例

「がんばれ」「そのうちどうにかなるよ」「友達が恋しむよ」「逃げてはダメだ」

X NG



相談しても理解してもらえないかったと感じる場合があります。

家庭での対応に困ったら

一人で悩まずに、信頼できる誰かに相談してみましょう

学校に相談し、学校と協力することが大切です。

子供の様子が気になるときは、まずは学校に相談してみましょう。家庭以外での子供の様子を知ることにより、自分では気が付かなかった視点や対応方法に気付くことがあります。学校には、学級担任や、学年主任、養護教諭、心理の専門家（スクールカウンセラー等）、管理職など様々な教職員がいます。

保護者の方が相談しやすい先生にお話しください。



不安や悩みへの対処について学校ではこのような指導をしています

不安や悩みは誰にでもあることです。

勉強や道徳 講義や体形
自分の性格 家族や異性

ストレスへの対処の方法はいろいろあるよ

自分の不安や悩みに気付き、ストレスに対処するために様々な経験をすることは、心の発達のために大切なことです。

どんな小さなことでも、心配なことがある場合には、身近にいる信頼できる大人に相談してみましょう。

学級担任 養護教諭 スクールカウンセラー 保護者

詳しくは…

家庭で学ぶ不安や悩み（ストレス）への対処について

後編

不安や悩みがあるときは… 一人で悩まず、相談しよう



この資料は、都内の全ての公立学校を通じて、定期的に子供たちに案内しています。資料には、心理等の専門家や各種支援機関への相談先が記載されています。



東京都教育委員会ホームページに掲載しています。